

学 校 名	<b>山形市立千歳小学校</b> 山形市落合町1359番地 TEL: 631-2164 FAX: 631-9020	校 長	富樫 朗
		研究主任	工藤 美波
研 究 主 題	<b>仲間とつながりながら 思いをもって 粘り強く学び合う子供の育成 (4年次)</b>		
研 究 主 題 設 定 の 理 由	<p>これまで本校は、教育理念であった「価値ある主体的な学び」「意味あるかかわり」「自分への気づき」を通して行事と学習をつないで「子供の育ち」を深めるべく実践を重ねてきた。その中で大切にしてきたのは、一人一人の子供が自分で考えること、行事やたてわり班活動等の特別活動での仲間との多様な関わりで自分を捉え直すこと、そして学びを確かに進めていくことであり、それらを「子供の育ち」と捉え、研究を進めてきた。</p> <p>令和元年度から体育科を核として授業研究、授業改善に取り組んだ。その中で、運動が得意な子供もそうでない子供も、運動の楽しさや心地よさを感じながら仲間と学習に取り組むことで、知識・技能が向上すると共に、集団の中での個々の存在感を高めていくことが明らかになった。さらに、「夢中になって学ぶ(運動する)」「本音で語り合う」「自分の思いや考えを言葉にする」「仲間に寄り添う」等の力を育てていくことの大切さが確認された。</p> <p>一方、学習指導要領の趣旨に則り、学校教育目標の具現化を図るため、全ての教育活動で身に付けさせたい資質・能力を以下のように整理した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 知識・技能「学んだこと、経験したことを柔軟に生かす力」</li> <li>2 思考力・判断力・表現力「物事をいろいろな見方で捉え、よく考え、伝える力」</li> <li>3 学びに向かう力・人間性「好奇心をもって自発的に取り組み、継続させる力」</li> </ol> <p>これら3つの資質・能力をバランスよく育成することを念頭に置きながら、これまでの研究でその効果が明らかになった子供同士のつながりを重視した授業を実践するため、研究主題を「仲間とつながりながら思いをもって粘り強く学び合う子供の育成」とし、研究を進めることとした。</p>		
研 究 の 目 標	子供同士のつながりを重視した授業によって、身につけさせたい資質・能力をバランスよく育成する。		
研 究 内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 4つの研究の柱 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 卒業までを見通した年間指導計画の作成</li> <li>(2) 系統性を踏まえた単元指導計画の作成</li> <li>(3) 資質・能力の3つの柱の関連を図った指導の充実</li> <li>(4) 学習成果を上げるための効果的なICTの活用</li> </ol> </li> <li>2 今年度の重点 — 柱(3)(4) — <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 3つの資質・能力を高めるための手立て <ol style="list-style-type: none"> <li>①知識・技能「学んだこと、経験したことを柔軟に生かす力」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・手立て1 振り返り・・・学習カードや体育ノート等を使って子供たちが自分の学びを振り返ることができるようにする。また、教師が個人やグループの学びを見取り、声かけや関わり方に生かす。</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>		

<p>研究の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手立て2 単元構成・・・単元前半の学びを後半に生かすなど、学んだこと、経験したことを生かすことができるような単元構成にする。</li> <li>②思考力・判断力・表現力「物事をいろいろな見方で捉え、よく考え、伝える力」</li> <li>・手立て1 言語化・・・個人やグループの思いや気付き、願い、課題などを具体的に言葉にすることで、相手に伝えたり、考えを共有したりすることができるようにする。</li> <li>・手立て2 ICT活用（自分たちの動きを確認・分析、思考ツール） <ul style="list-style-type: none"> <li>・・・メタ認知力を高めることで、広い視野をもち、多角的、多面的な視点で考えることができるようにする。</li> </ul> </li> <li>③学びに向かう力・人間性「好奇心をもって自発的に取り組み、継続させる力」</li> <li>・手立て1 題材設定・・・必要感、楽しさを抱くことで、進んで学習に取り組んだり、友達と関わる良さに気付いたりすることができるようにする。</li> <li>・手立て2 ICT活用（動画視聴）・・・イメージをもって学習に取り組むことができるようにする。</li> </ul> <p>(2) 3つの資質・能力に関する評価基準を明確にし、指導内容に照らして評価の場面を適切に位置付けることで、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」をバランスよく育成する。</p>
<p>研究の方法</p>	<p>体育の授業を中心に、授業研究、授業改善に取り組み、身につけさせたい資質・能力をバランスよく育成し、他教科や学級経営全般にも発展させていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和5年度第62回学校体育研究大会山形大会（授業研究会）を行う。そこへ向けて、以下のような方法で研究を深めていく。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業を参観しながら、3つの資質・能力を高める手立ての有効性や、指導内容に照らした評価の場面の妥当性について検証する。</li> <li>(2) 授業の事前研は各グループのメンバーで行う。同じグループで授業を創ることで各領域の系統性や運動の特性を踏まえた授業づくりを効果的に行う。</li> </ol> </li> <li>2 校内研究とカリキュラム・マネジメント 体育と他教科、行事等を連動させながら3つの資質・能力をバランスよく育成する。</li> <li>3 盛岡大学の盛島寛先生を指導助言者、山形市教育委員会学校教育課山口紀之先生を担当指導主事とし、本校の研究に対してご指導をいただく。</li> </ol>
<p>研究の計画</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学期 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究推進委員会（研究計画、概要、研究の方向性、授業について等）</li> <li>・研究全体会（研究理念の共通理解等）</li> <li>・事前研（授業について、教材研究等）授業研究会、教材研究、随時</li> <li>・研究授業 6月19日 第1回 2年1組 5年2組 7月10日 第2回 1年3組 3年2組</li> </ul> </li> <li>2 学期 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究推進委員会（各学年・教科の研究について）</li> <li>・授業研究会、教材研究、随時 指導案検討会</li> <li>・第62回全国学校体育研究大会山形大会（授業研究会）11月2日 4年1組（表現運動） 6年2組（ボール運動）</li> </ul> </li> <li>3 学期 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究推進委員会（まとめ、令和6年度に向けて）</li> <li>・研究全体会（まとめ、令和6年度に向けて）</li> <li>・研究集録原稿作成（～2月） ・研究集録完成（3月中旬）</li> </ul> </li> </ol>